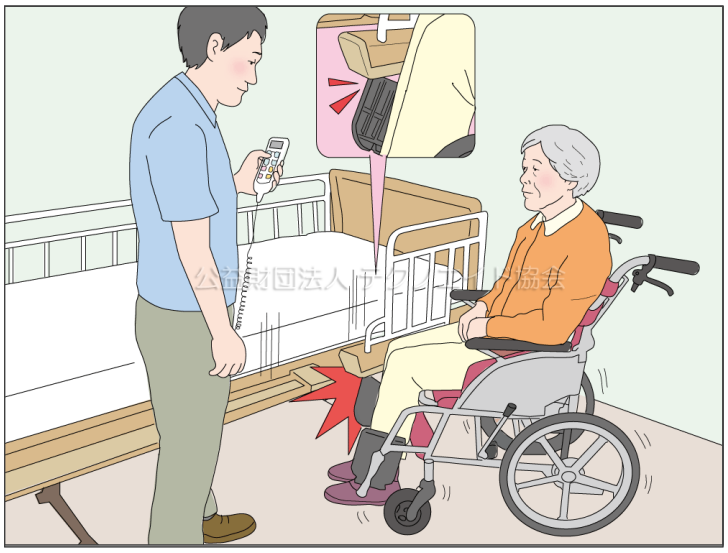
Case：354

ベッド高を下げる際に、車いすのフットプレートがベッドに挟まれそうになる

場面の説明

ベッド高を下げる際に、車いすのフットプレートが介護用ベッドに挟まれそうになった



利用シーン	移乗 リモコン操作
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

介護用ベッドの高さを下げる際に、車いすのフットプレートがベッドに挟まれそうになった事例です。移乗の際にベッドに車いすを接近させすぎたために、起こってしまいました。介助者はベッドを下げる際、常に何かを挟み込まないか細心の注意が必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：ベッド下降時の挟み込みへの注意不足だった
人：介助者の車いすの停車位置が前すぎた
管理：挟み込みの確認を介助者に指導できていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：354

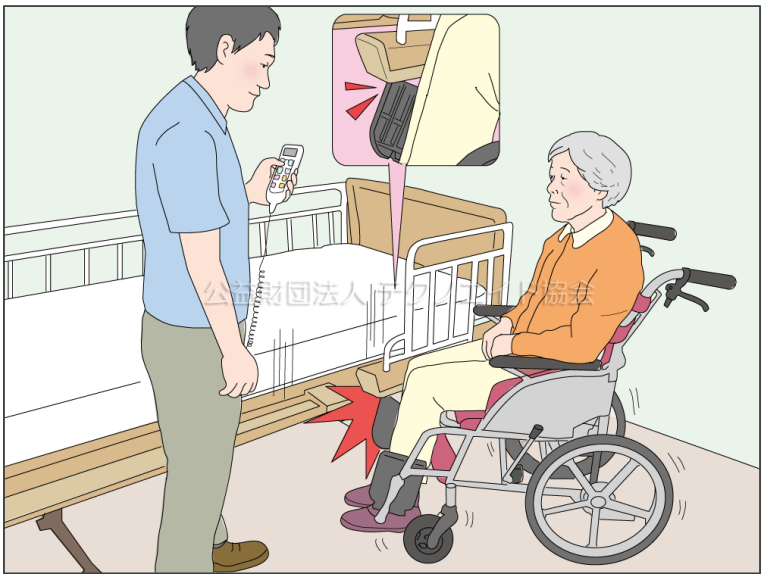
ベッド高を下げる際に、車いすのフットプレートがベッドに挟まれそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

ベッド高を下げる際に、車いすのフットプレートが介護用ベッドに挟まれそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.